

JATA/TQJインバウンドセミナー

**「国際交流におけるWithコロナの課題
とリスクマネジメント」**

～訪日旅行の出口戦略を考える～

2021年9月13日

東洋大学国際観光学部教授

(一社)日本旅行業協会参与 越智良典

206カ国地域から参加



羽田国際線ターミナルの絵馬(1)



羽田国際線ターミナルの絵馬(2)



羽田国際線ターミナルビルの絵馬(3)



自己紹介

1975年 早稲田大学政治経済学部卒

近畿日本ツーリスト(株)入社

2001年 本社海外旅行部長、常務取締役、専務取締役

2011年 (株)ユナイテッドツアーズ代表取締役社長

2013年 (一社) 日本旅行業協会 (JATA) 理事・事務局長

2020年 東洋大学国際観光学部教授

(一社) 日本旅行業協会参与 (JATAコロナ対策)

観光庁、内閣府、厚生労働省などの委員

やまなしグリーンゾーン認証制度専門家委員

JATAは主要旅行会社による強力な組織

正会員 1125社 (業界では1万社)

社員数 6万名 (業界では10万名) 売上 6兆円

大手は3事業、中小は海外旅行の専業が多い

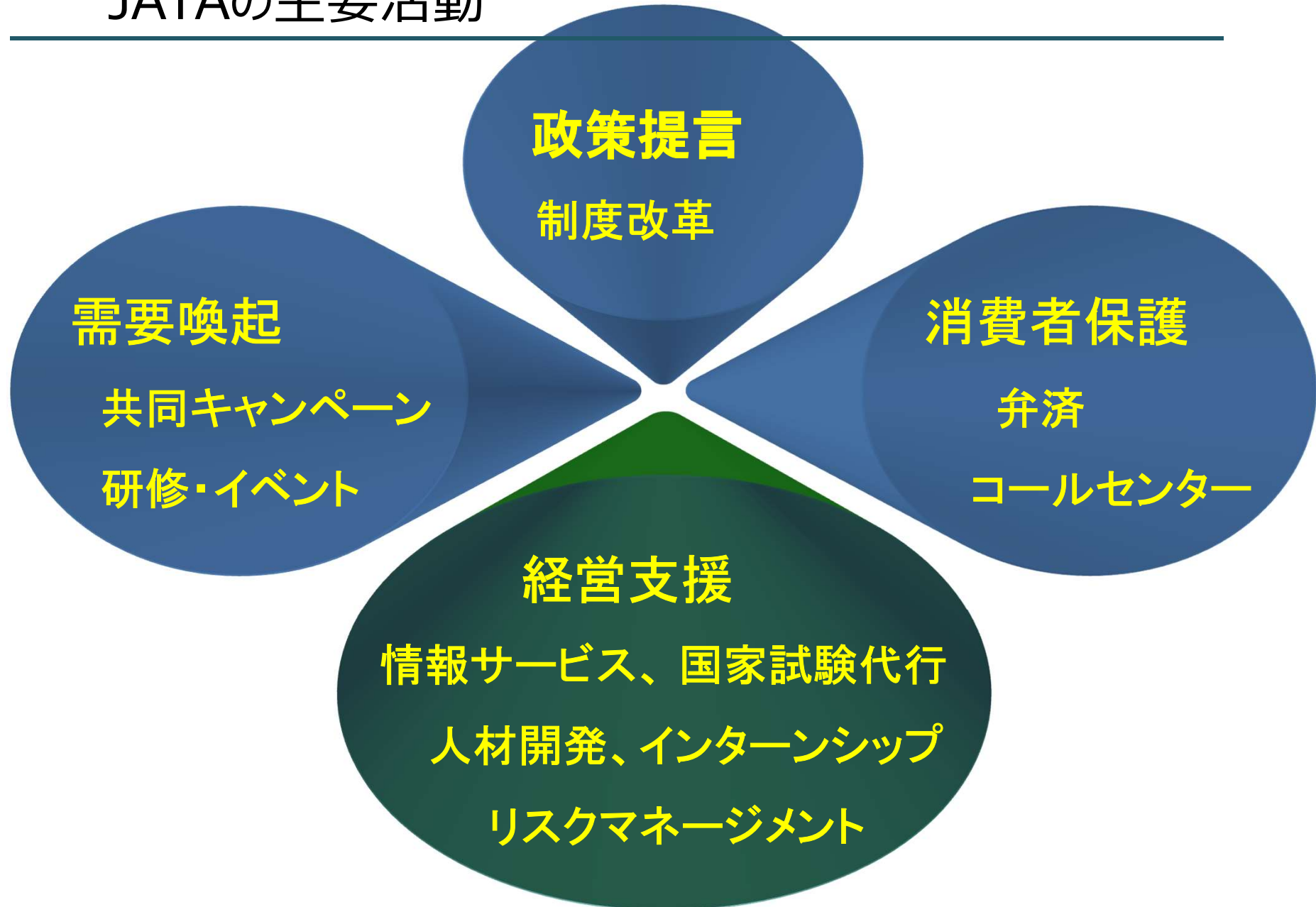
訪日：ランドオペレータ品質認証制度

海外旅行(シェア70%)

国内旅行

訪日旅行

JATAの主要活動



国際交流を演出ツーリズムEXPOジャパン

2019年大阪総来場者数：151,099人

日付	天気	人数	
		2019年	2018年
10月24日(木)	曇りのち雨	19,933人(業界日)	25,928人(業界日)
10月25日(金)	雨	28,375人(業界日)	40,345人(業界日)
10月26日(土)	雨のち晴れ	51,173人(一般日)	74,021人(一般日)
10月27日(日)	曇り	51,618人(一般日)	67,058人(一般日)
合計		151,099人	207,352人

国内外より1,475の企業・団体が出展する世界最大級の展示会。
業界日(2日間)は事前アポイント制の商談をブースにて実施。
一般日(2日間)は体験型展示で五感で旅の魅力を訴求。



観光大臣会合に、各国の観光大臣と国際機関代表が参加

<参加国 19か国>

ブータン、カンボジア、エジプト、フランス、イタリア
ジャマイカ、日本、リトアニア、マレーシア、モンゴル
モルディブ、ミャンマー、フィリピン、南アフリカ
スイス、アメリカ合衆国、ウズベキスタン、ウガンダ
ベトナム ※赤字はG20参加国

国際機関：UNWTO、WTTC、PATA
アドベンチャータラベル協会

※G20観光大臣会合(北海道・倶知安)と連携

出典：ツーリズムEXPOジャパンHP2019年開催レポート



政府・与党の外交に民間で協力

ロシア

- 2016年11月
極東ロシアに政府ミッション
- 2017年7月、10月、18年10月
北方領土視察
- 2018年4月
二階幹事長ロシア訪問団
11月から双方向交流拡大にむけてタスクフォース

インドネシア

- 2015年11月
二階幹事長1100名交流団を派遣

インド

- 2017年12月
日印観光協議。2020年までに
70万名とする共同プログラム策定
- 2019年1月
第3回日印観光協議会開催

双方向
交流

ベトナム

- 2020年1月
二階幹事長1100名交流団を派遣

中国

- 2015年5月 二階幹事長3162名
交流団を派遣（習近平国家主席）
- 2019年12月（山梨）
第一回日中観光フォーラム開催

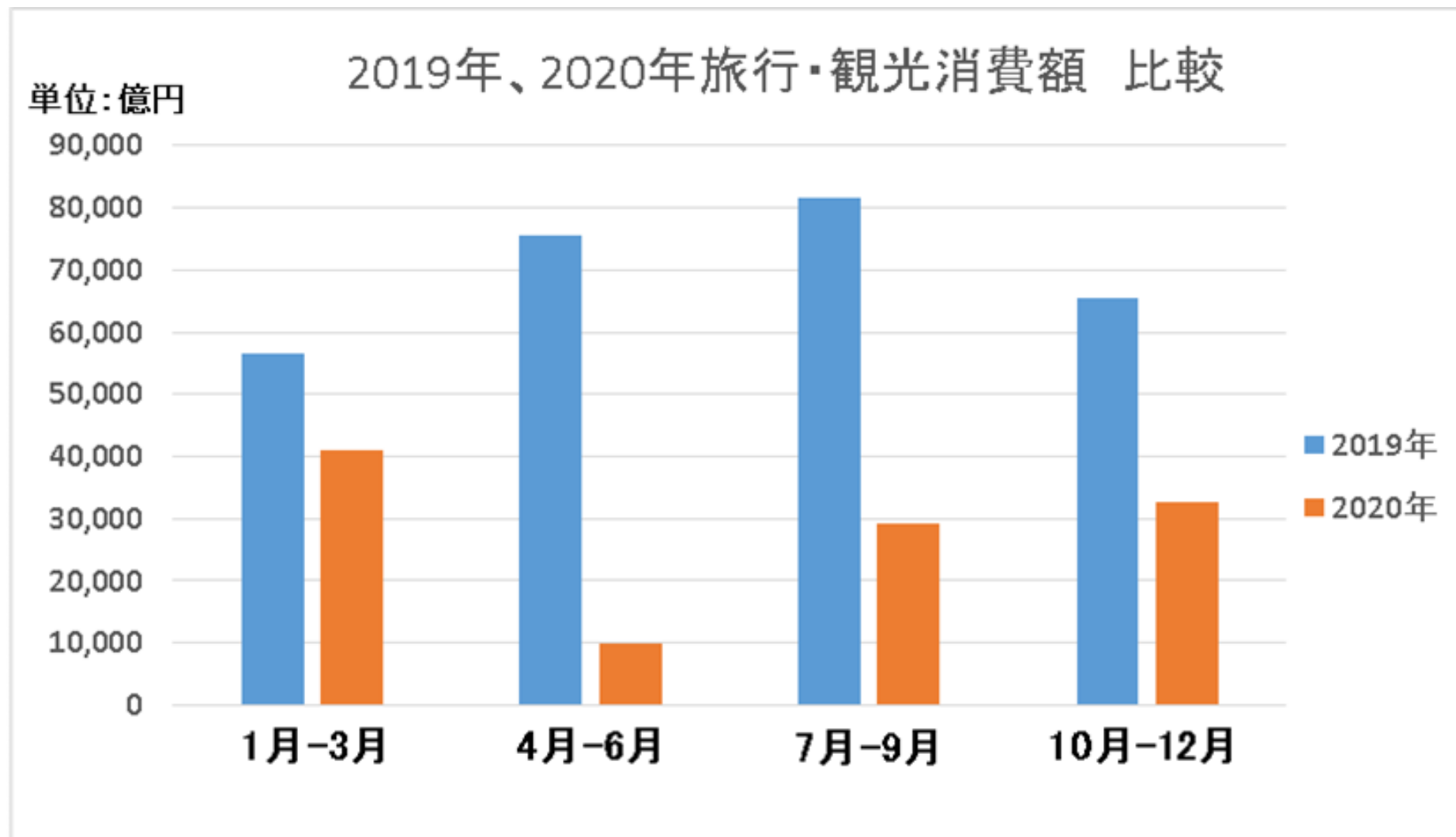
2020年の旅行・観光消費額は前年から6割減

2019年	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計
国内旅行	42,109	59,947	66,932	50,324	219,312
インバウンド	11,517	12,673	11,818	12,128	48,136
海外旅行(国内分)	3,000	3,000	3,000	3,000	12,000
合計	56,626	75,620	81,750	65,452	279,448

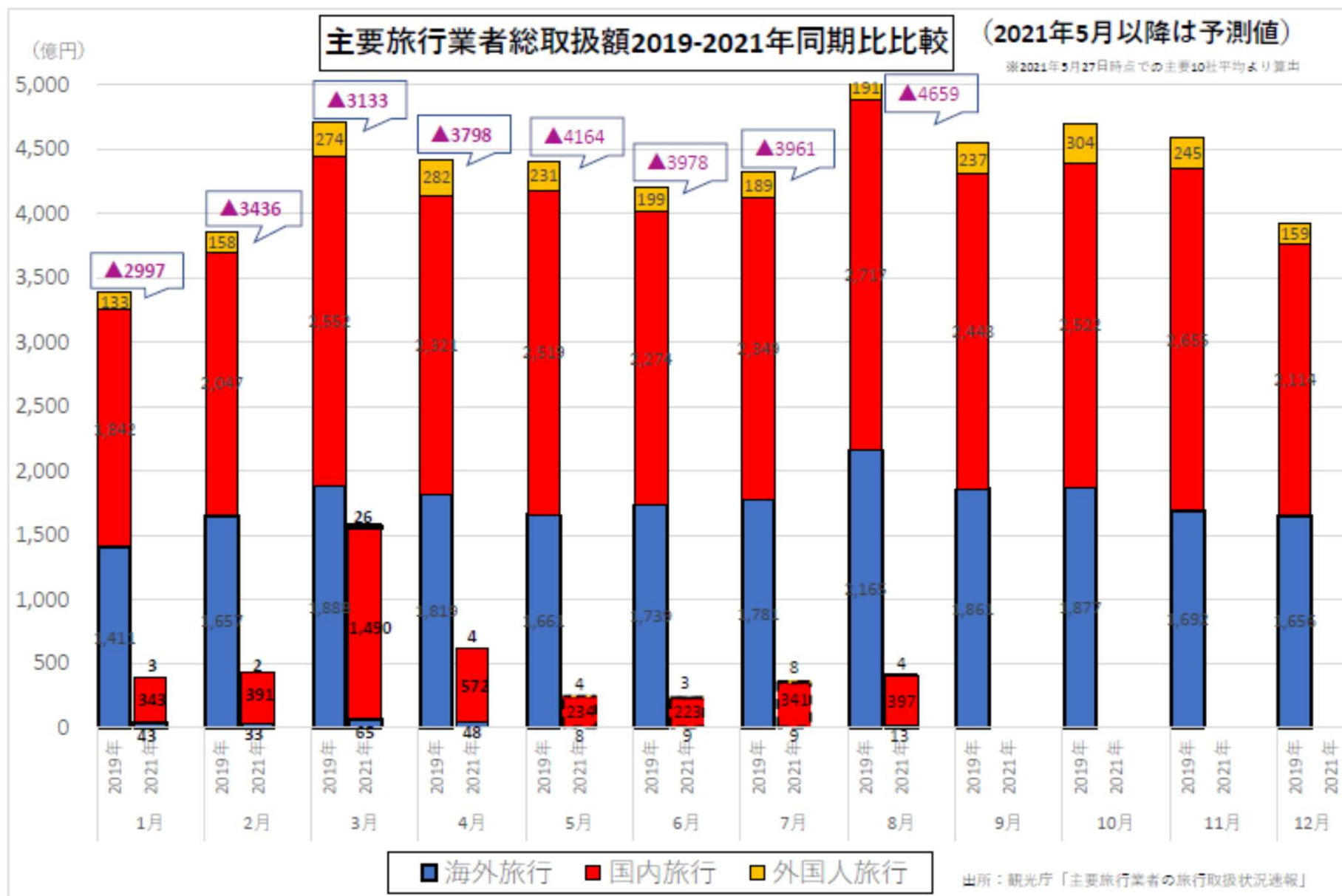
2020年	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計
国内旅行	32,972	10,046	29,028	27,691	99,737
インバウンド	7,071	0	0	0	7,071
海外旅行(国内分)	1,000	0	0	0	1,000
合計	41,043	10,046	29,241	32,711	107,808

出典：観光庁旅行・観光消費動向調査より。インバウンド、海外旅行は4月以降集計がない為ゼロで算出して演者作成。参考：2021年1～3月の同調査
国内旅行は16,458億円 (単位億円)

2020年の旅行・観光消費額はGoToキャンペーンで一息

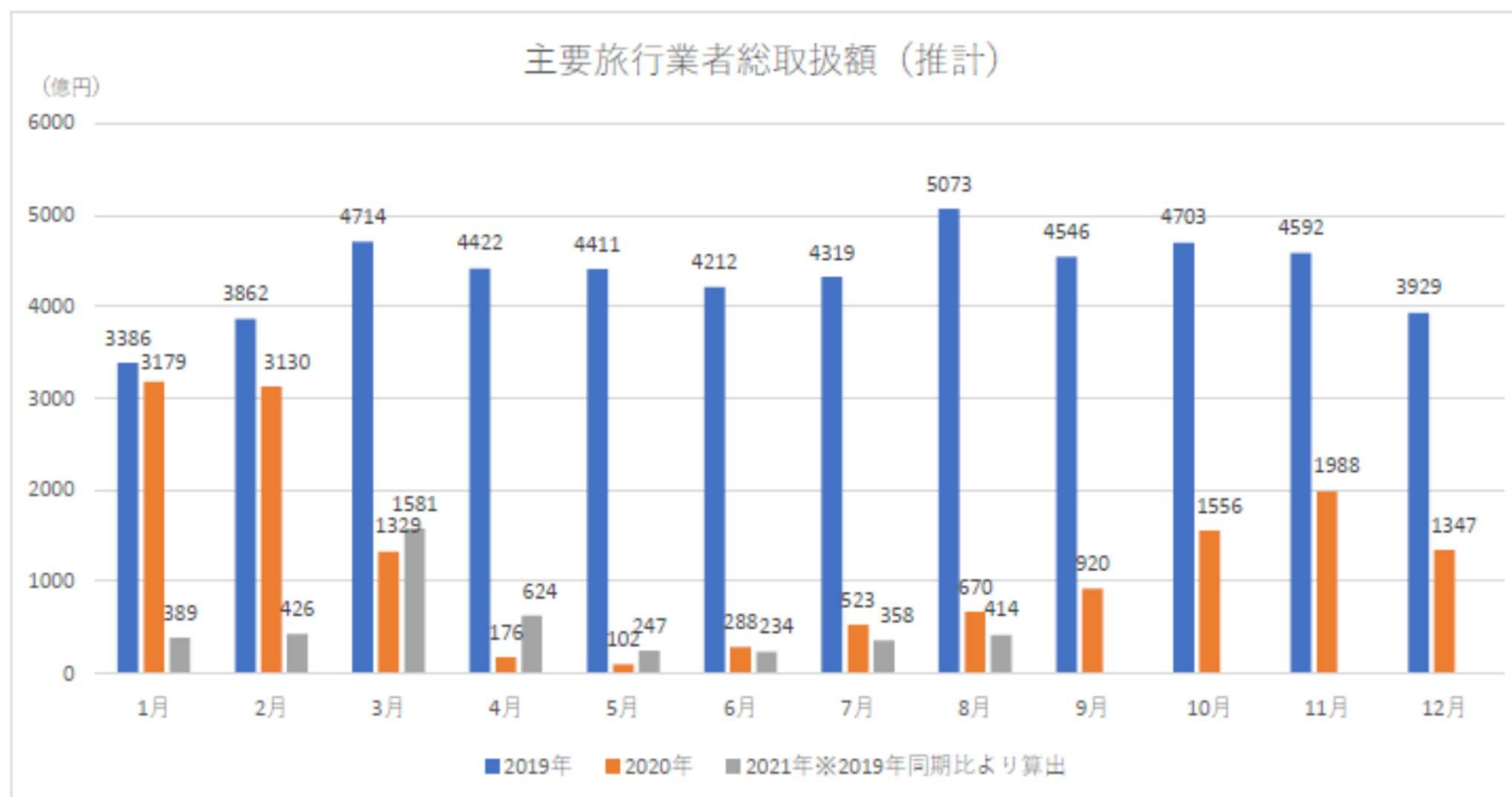


観光庁「旅行・観光消費動向調査」より演者作図



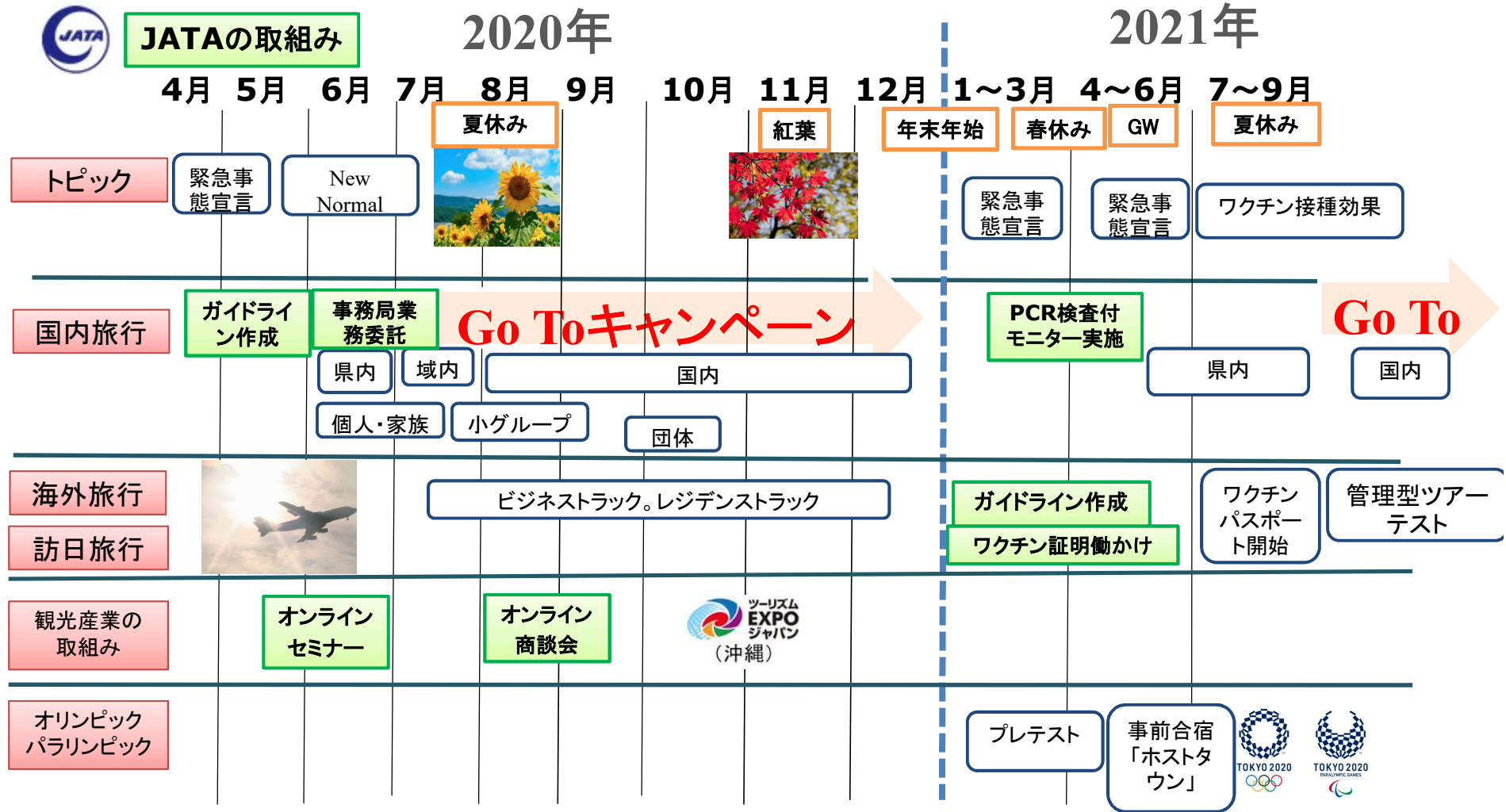
出典：実績は観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」、予測値は主要10社の先行予約をもとにJATAが作成
 Copyright © 2021 JATA All rights reserved. 禁無断転載・複製

主要旅行会社の2019年～2021年取り扱い高比較（億円）



出典：実績は観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」、予測値は主要10社の先行予約をもとにJATAが作成
Copyright © 2021 JATA All rights reserved. 禁無断転載・複製

新型コロナウイルス感染症発生以来の取組み



3月23日官邸ヒアリングでのJATA要望

- ・ 経営継続支援の強化を。雇用調整助成金の助成率を東日本大震災と同様レベルに引き上げを。支給限度日数を200日へ。
- ・ 観光業界による**自主的な感染防止策**を条件に、旅行・イベントの自粛要請の解除を！
- ・ 修学旅行を中止するのではなく、延期しての実施と学校側にキャンセル料が生じる場合の財政支援を。
- ・ 毎月1.5兆円の旅行需要の消失を取り返せるような**大規模な需要回復キャンペーン**の実施を。
- ・ **国際交流を蘇らせるために出国時の検温、健康チェックなどの国際的な仕組みづくり**を。

安倍総理コメント(3月23日)

「観光は日本の成長戦略の柱であり、今回大変な被害を受けているが、まず、事業を継続できるように全面的に支援する。

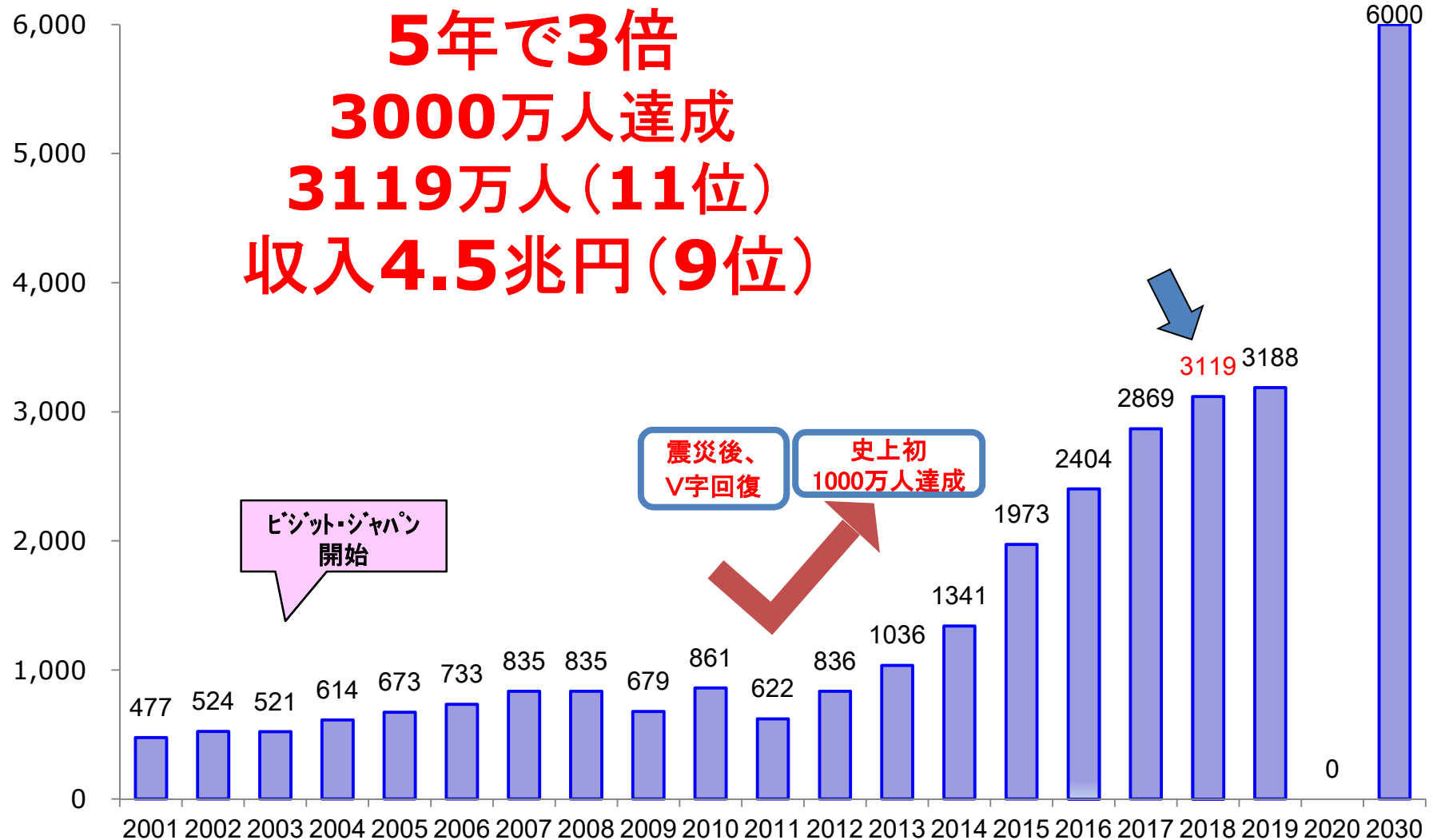
⇒ 持続化給付金、雇用調整助成金

現在は感染拡大を防ぐことに全力を挙げているが、しかるべき時にV字回復させるために前例のない規模の旅行キャンペーンができるように予算化する」 ⇒ Go To トラベルキャンペーン

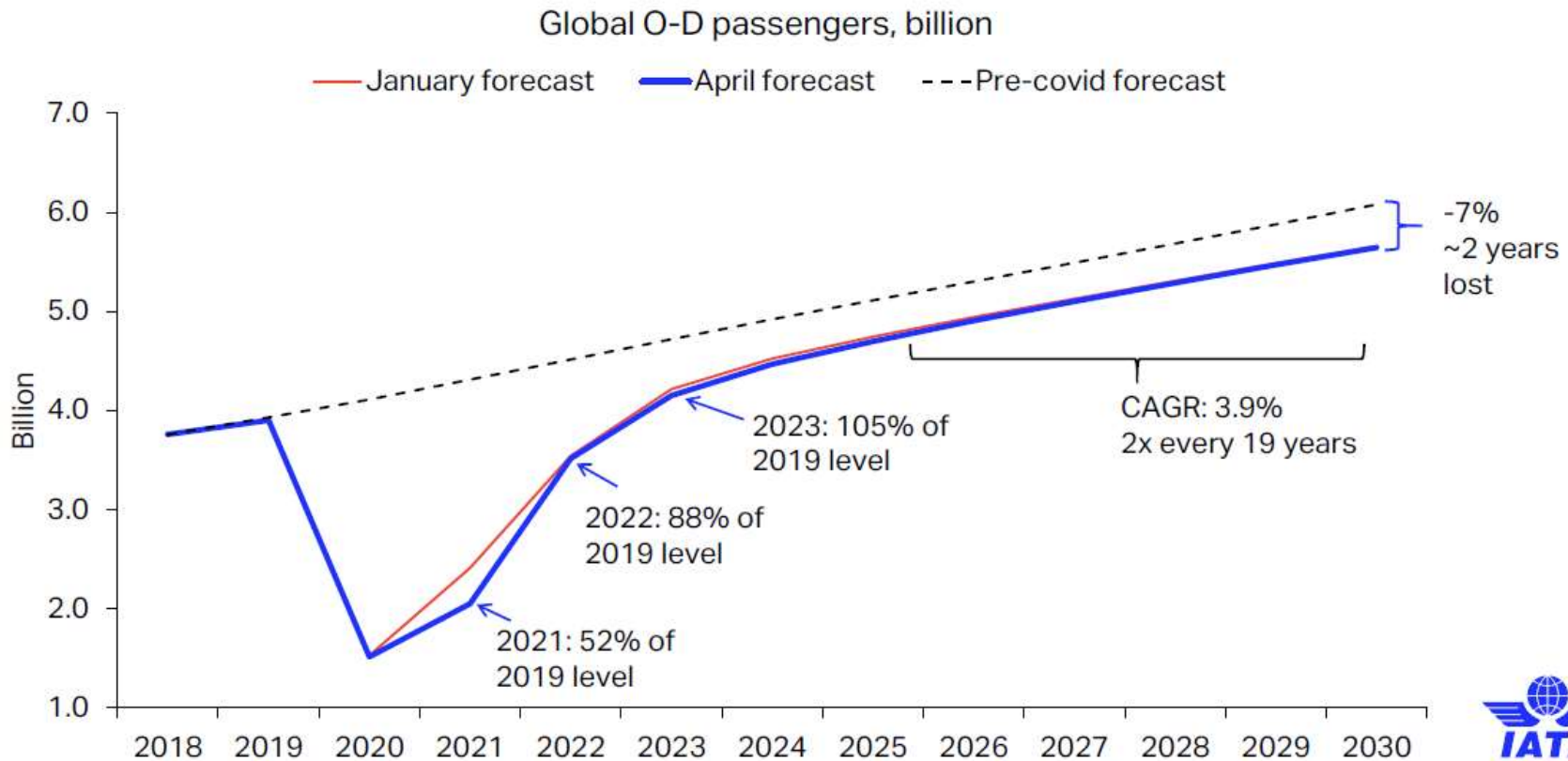
出典：官邸でのヒアリングを演者が記述

日本の奇跡 インバウンドの急成長

単位: 万人

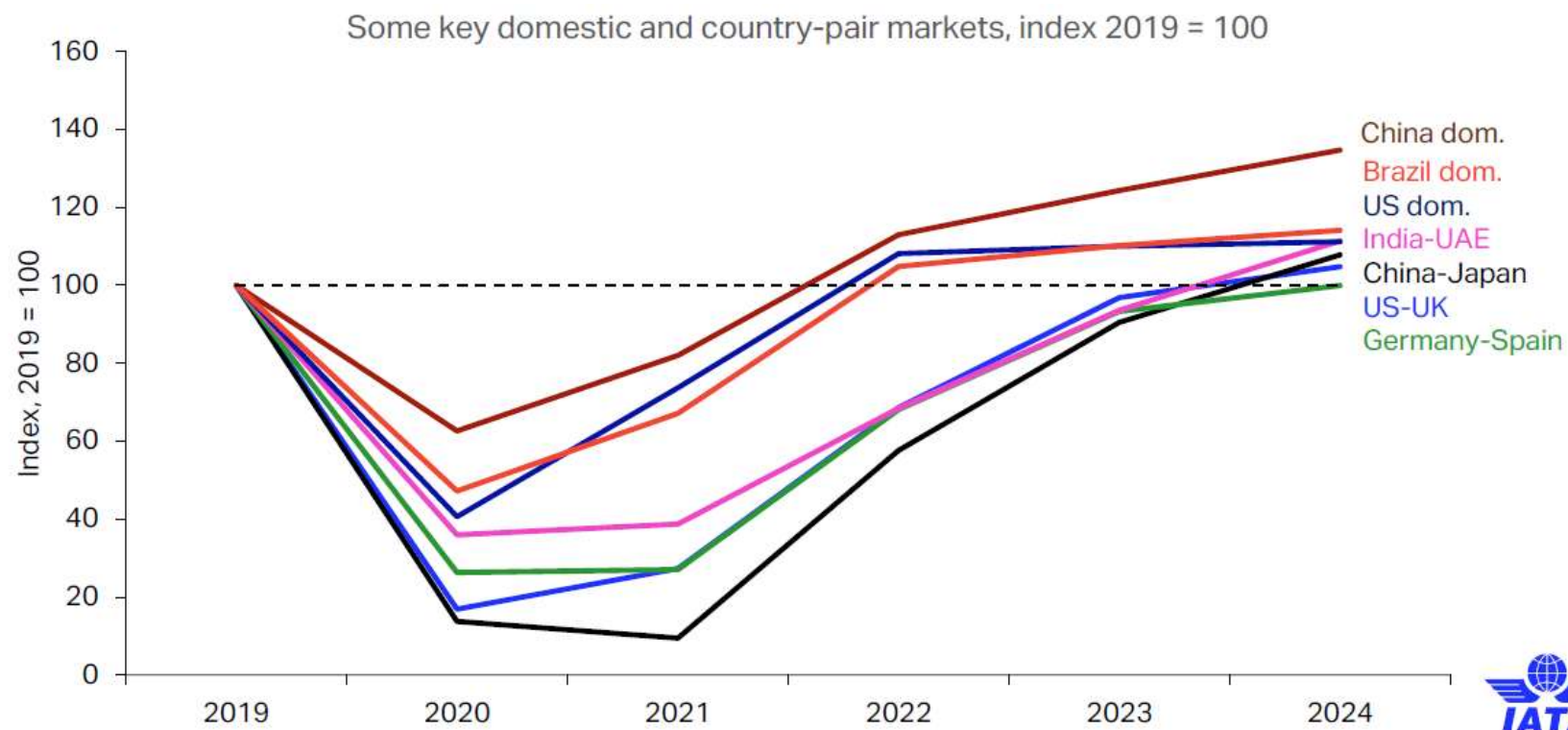


IATAによる航空回復予測は2023年



Source: IATA Economics using data from Tourism Economic/IATA Air Passenger Forecast, April 2021.

国内に大きな市場を持つ国が一早く回復



Source: IATA Economics using data from Tourism Economic/IATA Air Passenger Forecast, April 2021.



Go To トラベルキャンペーンの中間総括

1. まず国内で観光業界の体力回復（世界共通）
2. 近隣に車、自然が人気（世界的傾向）→OTA
3. 安心、安全、個人旅行、テーマ型、体験型

日本の特色

1. 7月から12月 8500万人泊（宿泊の半分）
2. 観光史上最大の作戦 旅費は約3倍の効果
地域共通クーポン効果も含め地域経済に効果
（全国、迅速）
3. 市場なりの効果 競争力のある観光地、施設
4. 旅行会社が活躍
（1）航空機・列車・バス→遠方
（2）国内旅行の再発見（海外旅行のリピーターへ）
5. 感染対策で国が監査
（Go To トラベルキャンペーン事務局資料より演者作成）

専門家の監修で感染拡大防止ガイドライン

- 国内旅行キャンペーンの前提：**New Normal**
観光・旅行業界の感染予防の対策
- 感染リスク
接触感染、飛沫感染、無症状者からの感染→3密
- 観光・旅行の場面ごとの対策：受入側と旅行者

感染症専門家：渡航医学会
+ コンサル（医療系・旅行系）

**宿泊、航空、鉄道、バス、
車、船、観光施設**

旅行会社
選定、企画
旅程管理

（演者作成資料）

ガイドライン遵守がGo To トラベル参加の条件

- 旅行会社と宿泊施設の約7割が参加
- 旅行会社：参加施設の選択、換気がよい
交通機関の選択。健康管理（体温測定）
ゆったりした日程。3密回避の運営。
- 宿泊施設：消毒、健康管理＋3密回避
予約、受付、部屋、食事、入浴
宴会、精算各シーンで
⇒全参加施設を専門チームが調査・指導
（100項目の点検）世界で唯一！

（演者作成資料）

消費者の啓発：新しい旅のエチケット 日本独自

事業者のガイドライン



旅行者のマナー啓発

双方の協力で感染防止
「行って安心、来て安心」

新しい生活様式の普及運動
New Normalな旅

右はGoToトラベル事業
公式サイトに掲載資料⇒

ありがとう！ 守って安心 エチケット



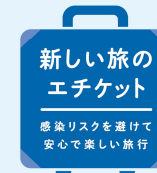
マスク着け、
私も安心、
周りも安心。



問あけ、
ゆったり並べば、
気持ちもゆったり。



旅ゆけば、
何はともあれ、
手洗い・消毒。



エチケット 守るあなたは 旅達人



楽しくも、
車内のおしゃべり
控えめに。



おしゃべりを
ほどほどにして、
味わうグルメ。



毎朝の健康チェックは、
おしゃれな旅の
身だしなみ。

ひとり一人の協力が、みんなの楽しい旅を守ります

あなたも、あなたの大切な人も、働く人も、観光地も

旅行連絡会 協力：国土交通省・観光庁

Go To トラベルでの感染 11月まで抑え込み

- ・7月22日～11月30日 少なくとも**6850万人泊**
- ・陽性者の報告**12月17日まで 309名**(観光庁発表)
- ・**GoTo**利用者は右肩上がり、感染者は横ばい状態

<傾向と対策>

・個人旅行は横ばい

・**10**月中旬以降団体で散発的に発生

募集ツアー 受付チェック強化(体温+健康管理)

手配型団体 車中での飲食、食事、カラオケ禁止

修学旅行 二次感染が少ない

(大手4社統計発表**2020年3月～12月:71万人で30名**)

(演者作成資料)

ツーリズム産業のリスクマネジメント

3大リスクとの戦い

JATA対策部会、官民連携（観光庁、外務省など）

得体の知れない恐怖 情報による武装

テロ：NYC9.11 ⇒リスク会社、外務省

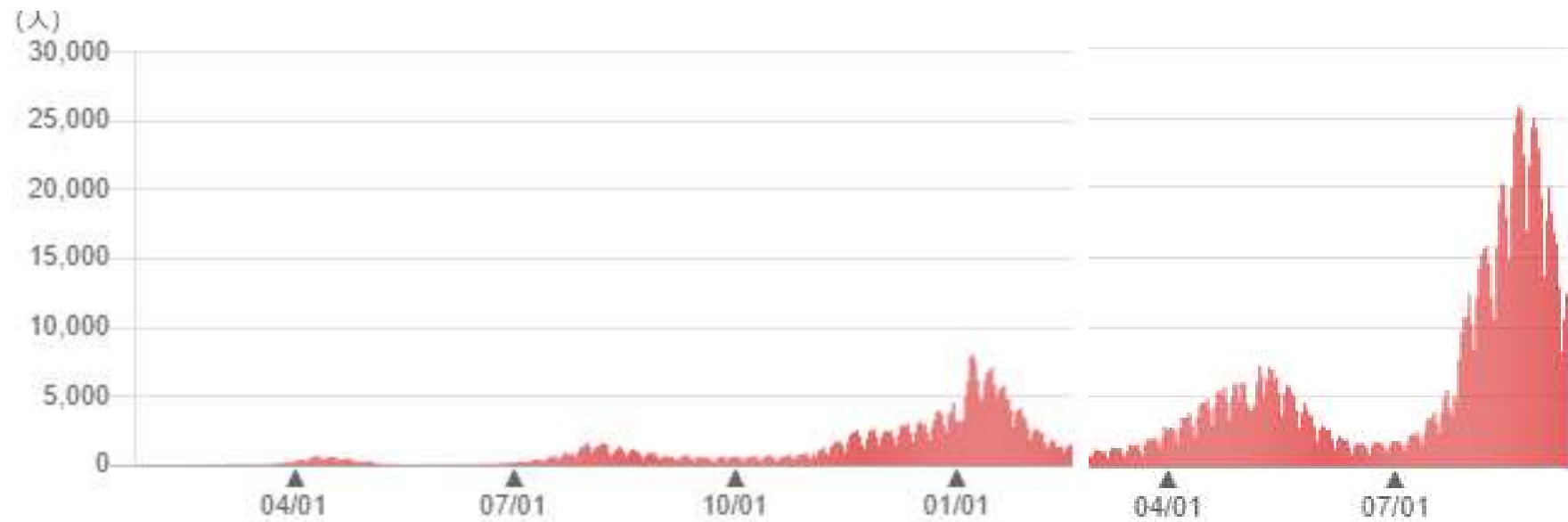
自然災害：東日本大震災、台風⇒気象予報会社

感染症：SARS、コロナ ⇒渡航医学会

※セミナー開催、ガイドライン作成

※トラベルクリニックリスト掲載

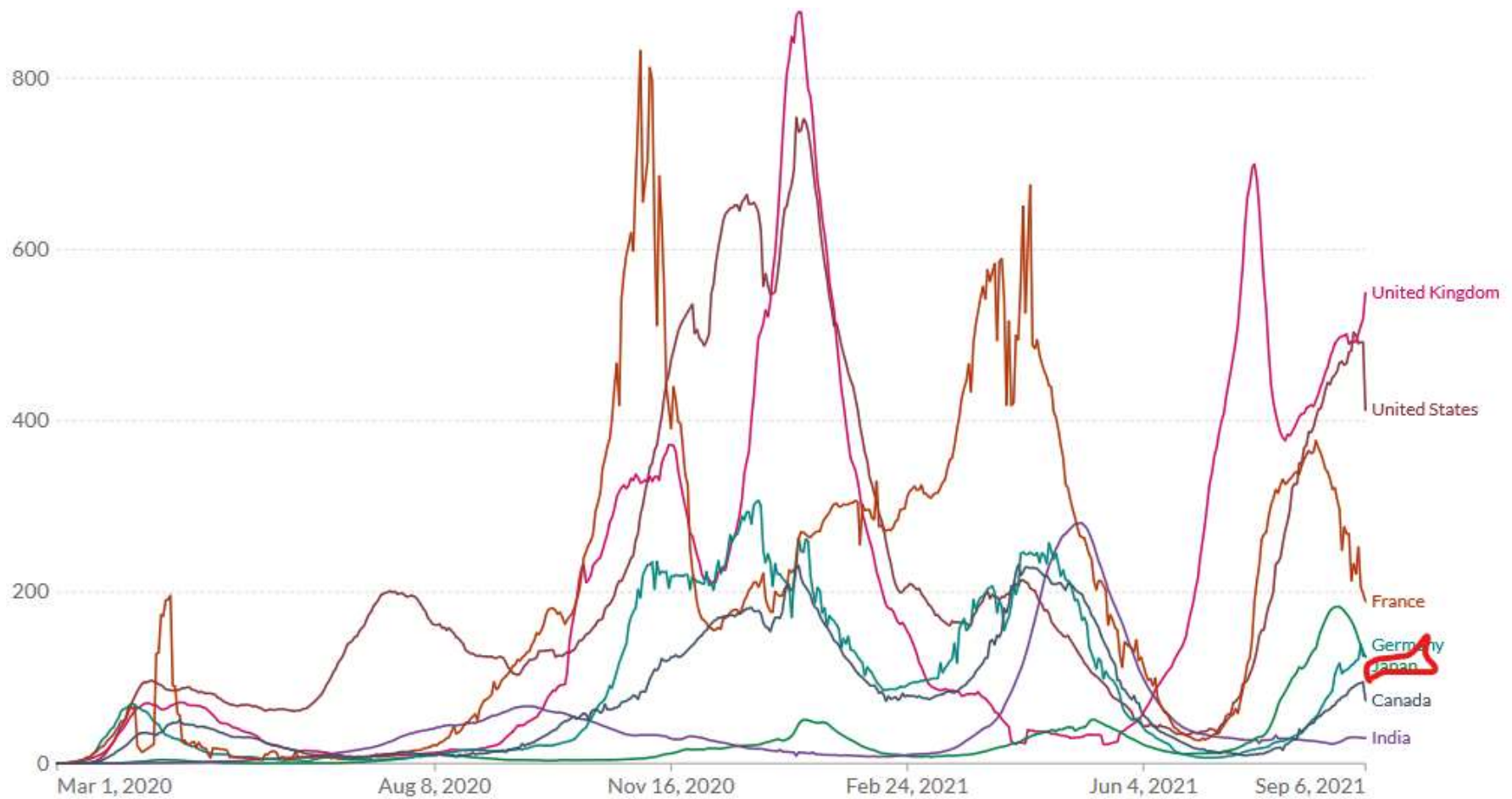
国内の新規患者数の推移



出典：厚生労働省HP

コロナの新規感染者数（100万人あたり）

出典：Our World in Data

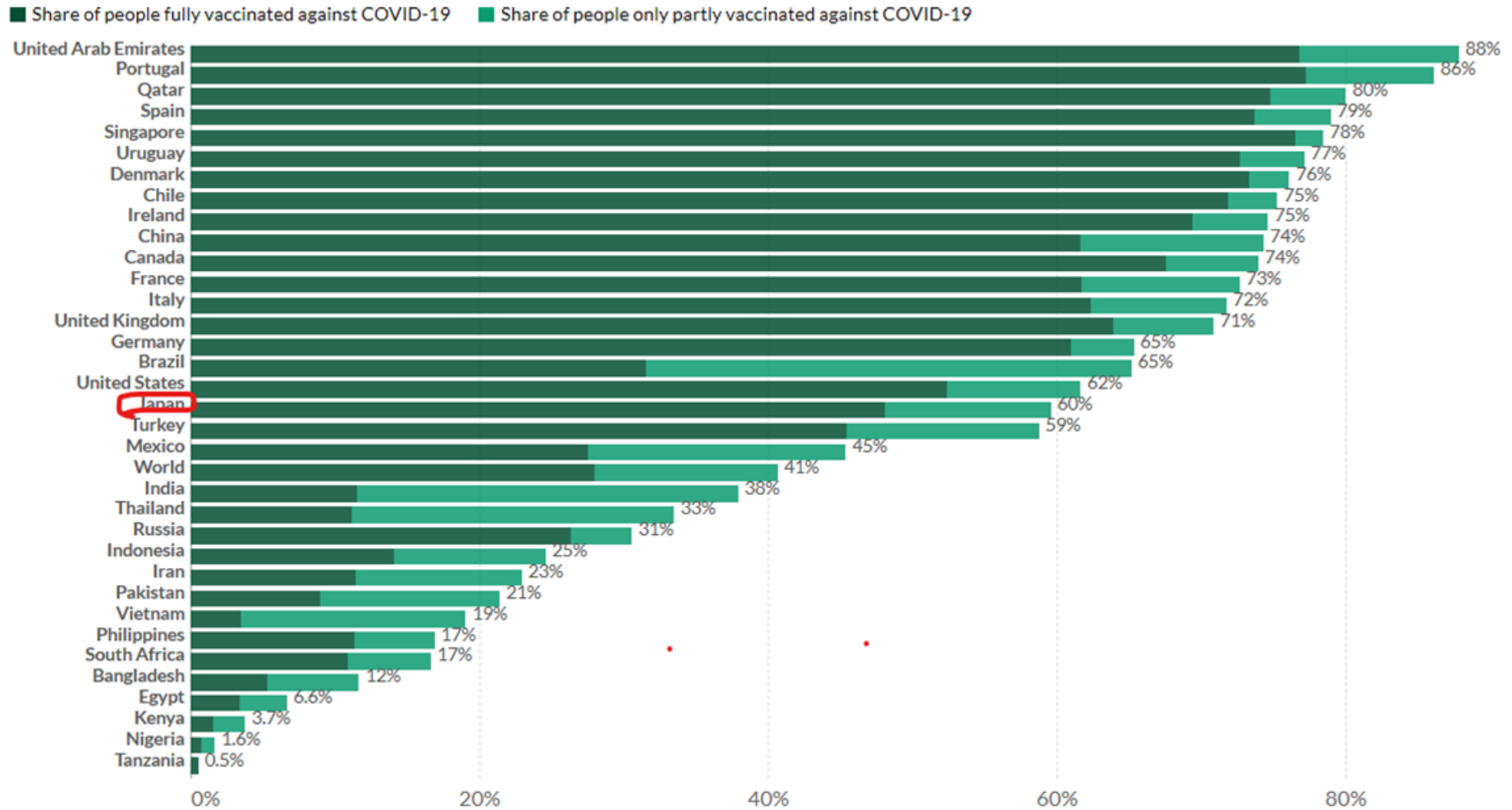


Source: Johns Hopkins University CSSE COVID-19 Data

CC BY



ワクチン接種率 (出典 Our World in Data)

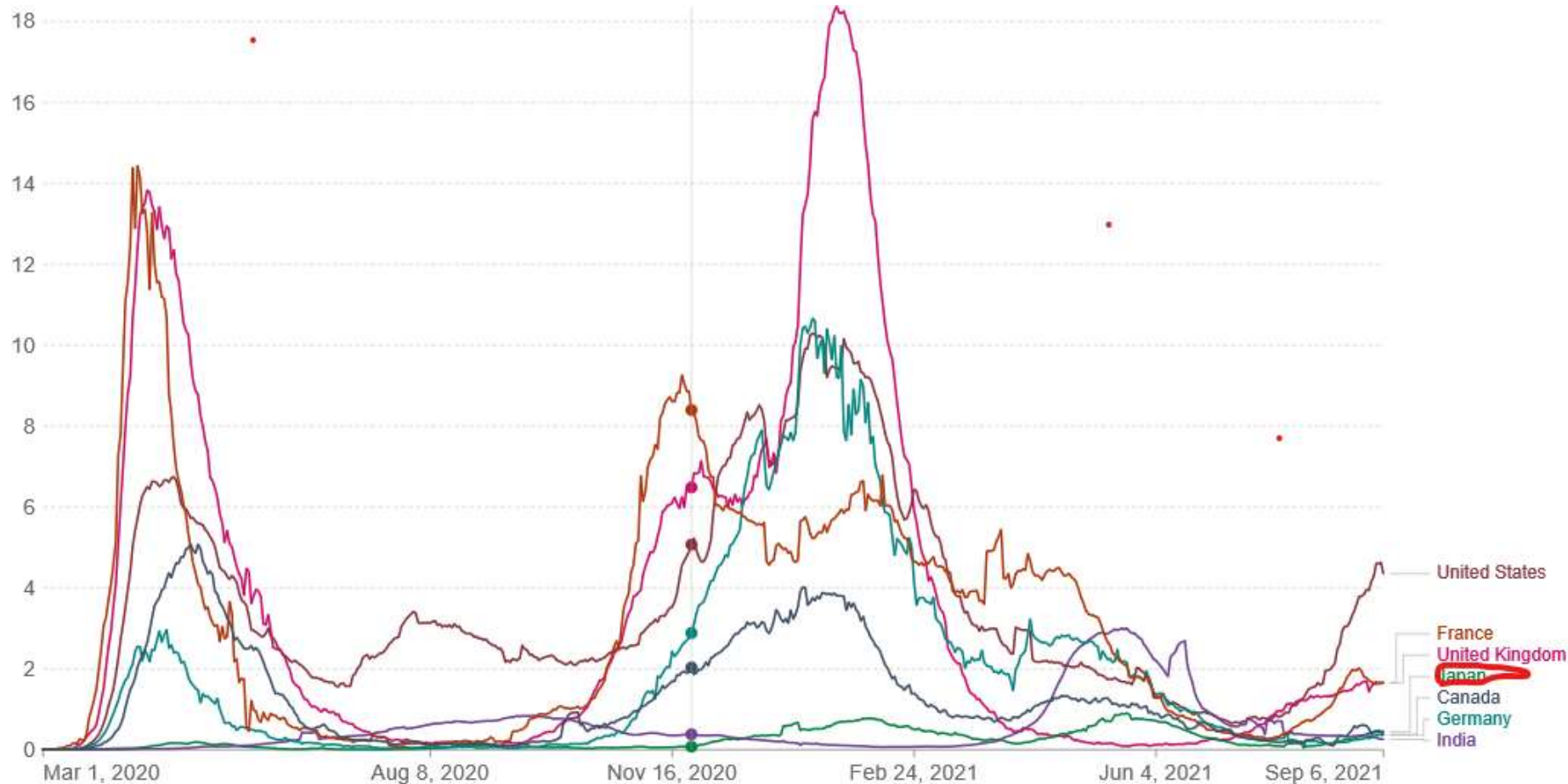


出典：Our World inDataによって照合された公式データ。このデータは、1回目と2回目の投与量の内訳を絶対数で報告している国でのみ利用できます。

CC BY

コロナによる死者数（100万人あたり）推移

出典：Our World in Data

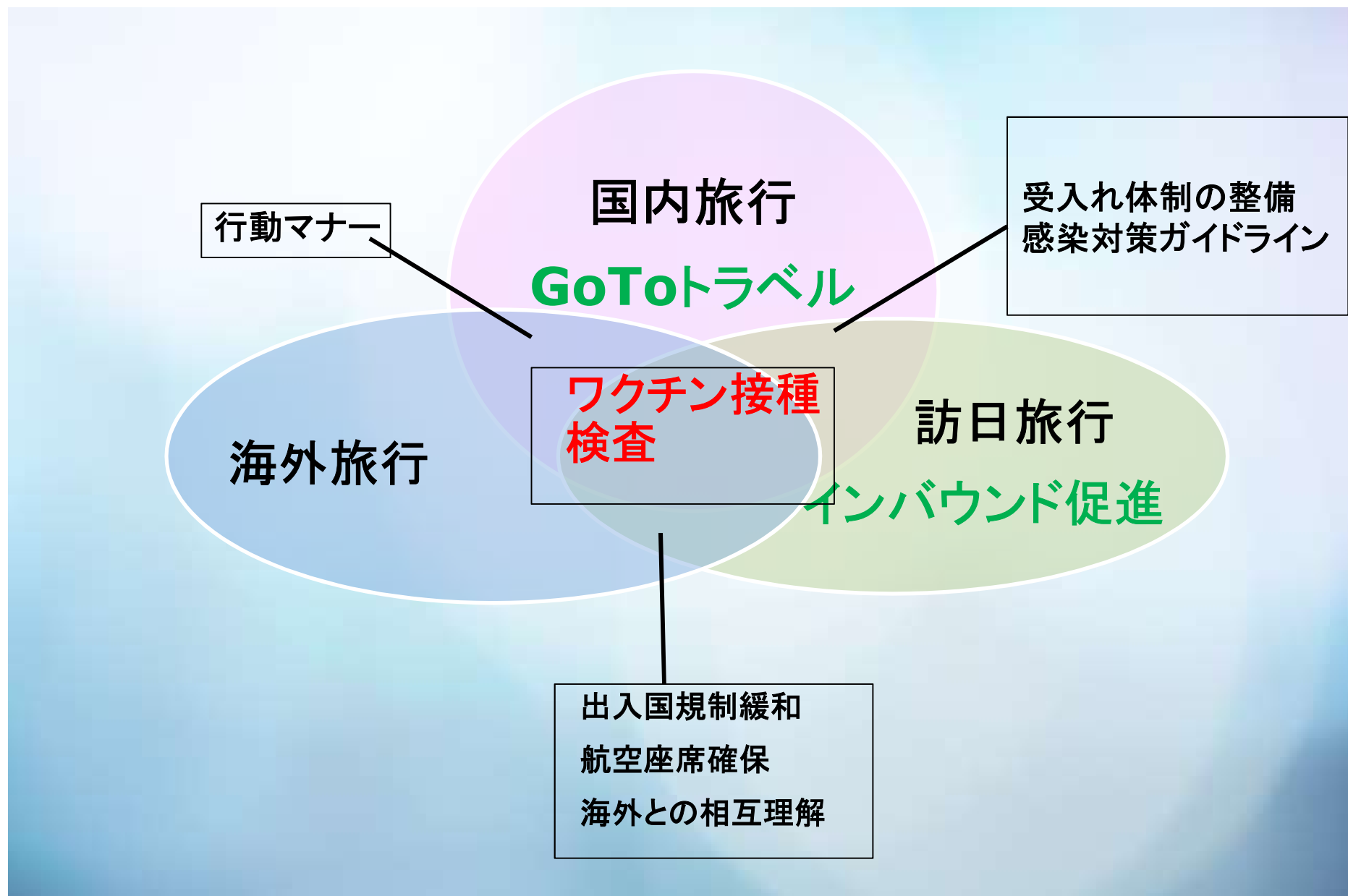


経団連はワクチン接種の活用を政府へ提言

現在・・・7月～			
目標	65歳以上の 8割以上 接種	国民の 5割以上 接種	国民の 8割以上 接種
	医療機関への負荷軽減 対象を限定した活動緩和	医療負担、感染拡大リスクが低下 本格活用開始、接種率の向上が鍵	接種記録活用の必要性を検討 出口戦略の打ち出しが鍵
政府への提言	<ul style="list-style-type: none"> 科学的知見に基づくメッセージ発信 ワクチン接種の機運向上 デジタル化、システムの準備 政府支援の検討（補助金等） 合理的配慮ガイドラインの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種の機運向上 補助金等の支援を実施 出入国、国内アプリの一本化 政府主体の取り組みへ導入し、委縮した業界を活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 出口戦略の検討、打ち出し デジタル化推進によって次の感染症に備える ワクチン接種に関する正確かつ分かりやすい情報発信を継続
	各主体の取り組み	医療界 <ul style="list-style-type: none"> ワクチン接種効果の研究 行動ガイドラインの作成 パスポートの活用ガイドラインの作成 経済界 <ul style="list-style-type: none"> 個別キャンペーンの実施 差別等を防ぐ仕組みを実装 デジタル化の推進、技術開発 	医療界 <ul style="list-style-type: none"> 各種ガイドラインの更新 ワクチン接種効果の研究 経済界 <ul style="list-style-type: none"> 自治体と連携しアイデアを実行 好事例の横展開を実施、連携促進 セキュリティや真正性の担保

出典：（一社）日本経済団体連合会HP提言

新型コロナウイルス危機の出口戦略



海外旅行の出口戦略（訪日と表裏一体）

（要望）

- 水際対策の緩和：**14日間の隔離**→**10日間**→**撤廃**へ
- ワクチン接種または**PCR検査証明**
 - 日本のワクチン接種証明が使用できる国を増やす
 - デジタルワクチンパスポートの実用化（**12月**？）
- 感染症危険情報のレベル引き下げ
 - ワクチン接種率によるリスク評価を！（色分け）
 - G7欧米諸国重視か？中国・アジア重視か？**

（行動基準）

- 医療体制の確認（感染状況次第で診療できなくなる）
 - 海外旅行傷害保険の付与

（演者作成資料）

日本の水際対策(8月11日に変異株対策で強化)

1. 出国前 / 2時間以内の検査証明書の提出 → **ワクチン関係無**
2. 誓約書の提出 (14日間の公共交通機関の不使用、自宅等での待機、位置情報の保存・提出、接触確認アプリの導入等)
3. 滞在した国・地域に応じた期間 (①~③) 検疫所の確保する宿泊施設で待機して検査。陰性が確認後退所し、14日間自宅等での待機
 - ①3日間待機。3日目に検査：英国、フランス等53ヶ国地域
 - ②6日間待機。3日目、6日目に検査：インド、スリランカ、ネパール、モルディブなど9か国
 - ③10日間待機。3日目、6日目、10日目に検査
インドネシア、キルギス

感染症危険情報レベル

感染症危険レベル

レベル1	十分注意してください。
レベル2	不要不急の渡航は止めてください。
レベル3	渡航は止めてください。(渡航中止勧告)
レベル4	退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)

レベル2：

中国、韓国、香港、マカオ、台湾、
シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド

レベル3：

欧米諸国はじめ大半

主要国（G7）の出入国規制

フランス： ワクチン接種証明または72時間以内の陰性証明

ドイツ： 陰性証明（48時間以内の抗原検査か72時間以内のPCR検査）ワクチン証明または快復証明で免除。

日本はデジタル入国登録が9月3日から義務化（リスク国

イギリス： 72時間以内の陰性証明。入国後の10日間の自己隔離。

入国後2日目と8日目の検査。5日目以降の検査で自己隔離の終了選択可能。日本のワクチン接種証明は隔離免除の対象外（9月9日現在）

アメリカ： 72時間以内の陰性証明。CDCは基本的感染対策励行

ハワイ： 72時間以内の陰性証明で隔離措置免除プログラム

出典：9月9日現在 外務省HPより筆者が作成

日本のワクチン接種証明が使用できる国・地域

イタリア、オーストリア、ドイツ、フランス、デンマーク、トルコ、ブルガリア、ポーランド、リトアニア、エストニア、スロバキア、スロベニア、コソボ、ベラルーシ

香港、韓国（隔離免除書発行に必要な書類のうちのひとつである「予防接種証明書」として認められる） タイ（プーケット、サムイ、パンガン、タオ島のみ）、スリランカ、インドネシア、マレーシア、ベトナム、モルディブ、サモア、パラオ、パプアニューギニア

カナダ、米国（グアムのみ） エクアドル、ホンジュラス、セントクリストファー・ネイビス、セント・ビンセント、ベリーズ

9月3日時点 外務省 33ヶ国・地域 出典：外務省海外安全HP

IATAトラベルパス利用の流れ

IATAトラベルパス 利用の流れ



注: アプリイメージ・ピクトグラムの作成主体は以下の通り ※1: IATA ※2: 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 ※3: icon-rainbow.com 11

出典: ANA作成資料を許諾を得て演者が引用

国際往来復活に向けた働きかけ

**目標：「帰国後14日間隔離措置の緩和」と「感染症危険度の引
下げ」**

内部：デジタルヘルスパポートWG設置

**外部：①渡航医学会と連携し、医学的見地をからの助言を
得て、国に提言を行う。**

②海外への働きかけ：大使館、観光局、航空会社など

③国内への働きかけ

経済界：経団連（航空、空港、旅行）、東商

政府与党：自民党観光立国調査会など

（JATA作成資料を演者が加工）

主要国のワクチン接種状況に基づく色分け 9月6日現在

(国)	ワクチン完全接種率)	新規感染者数)	新規死亡数)	色
中国	61.8%	0.1名	0名	緑
香港	46.4%	1.7名	0名	黄
韓国	31.8%	201.8名	0.7名	黄
台湾	3.9%	2.2名	0.2名	黄
タイ	11.1%	1540.5名	25.1名	赤
シンガポール	75.8%	221.9名	0名	緑
インド	11%	181.7名	1.7名	黄
英国	63.2%	3595.5名	11.6名	緑
フランス	61.9%	1488.9名	11.9名	緑
ドイツ	60.2%	970名	2.6名	緑
米国	52.7%	3462.2名	32.8名	緑
ハワイ	63.4%	897名	4名	緑
日本	46.7%	961.9名	3.3名	黄

新規感染者数および新規死亡者数は人口100万人あたり

(出典：ジョンホプキンス大学) ワクチンは2回接種

緑：ワクチン完全接種率50%以上、新規死亡者数30名以下

黄：ワクチン完全接種率40%～50%で新規死亡者30名以下または
ワクチン完全接種率40%以下だが、新規死亡者3名以下

国内旅行の出口戦略（訪日の国内受入態勢）

- ワクチン接種、打てない人は陰性証明（PCR検査）
 - ワクチン接種証明証、PCR検査証明の共通化
- ガイドラインの見直し
 - 最近の知見：デルタ株、マイクロ飛沫感染⇒換気や不織布マスク。 ブレークスルー感染⇒マスクは着用
 - 検温＋症状の確認に加え、宿舎での抗原検査の活用？
- 地元受け入れ態勢の整備
 - 歓迎体制づくり
 - 医療機関の協力体制 抗原検査の活用→陽性者の扱い
 - 医療機関の協力、待機場所、自宅への移動を検討
- やまなしグリーンゾーン認証はインバウンドがゴール
 - 妙高はやまなしを手本に

（演者作成資料）

空港でのモニタリング調査

時期：**7月20日～8月31日**（緊急事態宣言期間）

対象空港：羽田、伊丹、成田、中部、関西、福岡

目的地：北海道、沖縄、福岡、**8月12日**から広島、鹿児島

検査：**PCR検査**または抗原定量検査

国の負担で実施

（政府発表）

羽田空港の**4月10日～5月9日**の実績

22370名の検査で陽性**141名**

（うち搭乗予定者は**3名のみ**）

（出典：日本空港ビルデング株）

JATAの取組：PCR検査付きモニターツアー実施

New Normalに基づく感染対策は基本
変異株による感染拡大、団体ツアーの懸念高まり
従来のスクリーニング（体温測定 37.5C）
追加対策：**PCR検査、COCOA登録、**
チェックシートによる健康管理
（**1週間前～2週間後**）

背景：**PCR検査の普及**（空港、市中、ホテル、イベント）
方針：団体ツアーで検証を行い、ワクチン普及に伴う
Go To トラベル再開の条件検討

PCR検査付きモニターツアー結果

時期：4月6日～4月25日（緊急事態宣言の谷間）

会社：8社9コース（クラブツーリズム、JTBメディア、
T-LIFE、日本旅行、阪急交通社、名鉄観光、
読売旅行、ワールド航空

発地：東京発5本、山梨、奈良、新潟、名古屋発

方面：東北、関西

参加：合計154名、男女（1対2）60代～70代が6割

お客様が重視すること：安心安全（73%）目的（60%）

価格（58%）季節感（37%）

PCR検査 つけた方がいい（78%）価格次第（13%）

報道：NHK、読売新聞など好意的な取り扱い

訪日旅行の出口戦略（海外、国内と一体）

（基本）

- ・ワクチン接種、打てない人は**PCR**検査証明の活用
- ・集団免疫を待たず、死亡率低下などリスク評価で交流再開

（海外旅行と共通）

- ・水際対策の緩和（**14**日間の隔離など）
- ・感染症危険情報のレベル引き下げ
 - ワクチン接種率が高い国同士＋重点国から交流再開
- ・医療体制の確認と旅行傷害保険の付与

（国内旅行と共通）

- ・感染対策ガイドラインは国内旅行用を準拠
- ・受け入れ態勢の整備（特に医療機関、自治体との協力体制）
 - 観光庁インバウンド実証実験の条件に

やまなしグリーンゾーン認証はインバウンドがゴール

新型コロナウイルス終息後の旅行動向

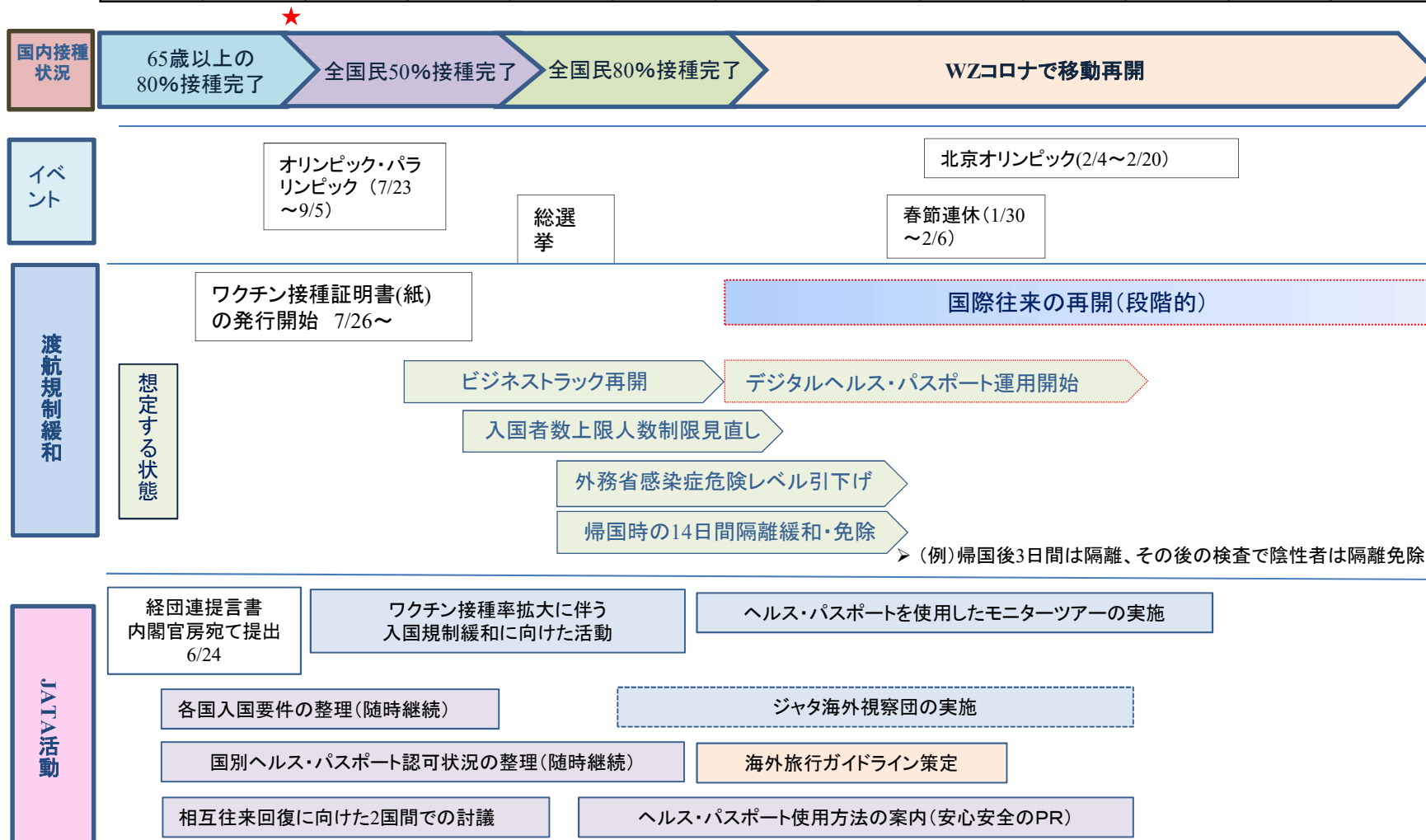
- 安心安全が最大の関心事
 - ・旅行会社や観光地による感染予防策の導入
 - ・観光地での感染状況などに関する具体的な情報提供
- 旅行の質的向上。特に観光地での食や宿泊施設
- 大型団体ツアーから少人数のテーマツアーへのシフト
- FIT, SITツアーの増加
- 余裕のある日程への移行

: アジア太平洋観光協会(中国支部)3月調査

海外旅行再開に向けたロードマップ

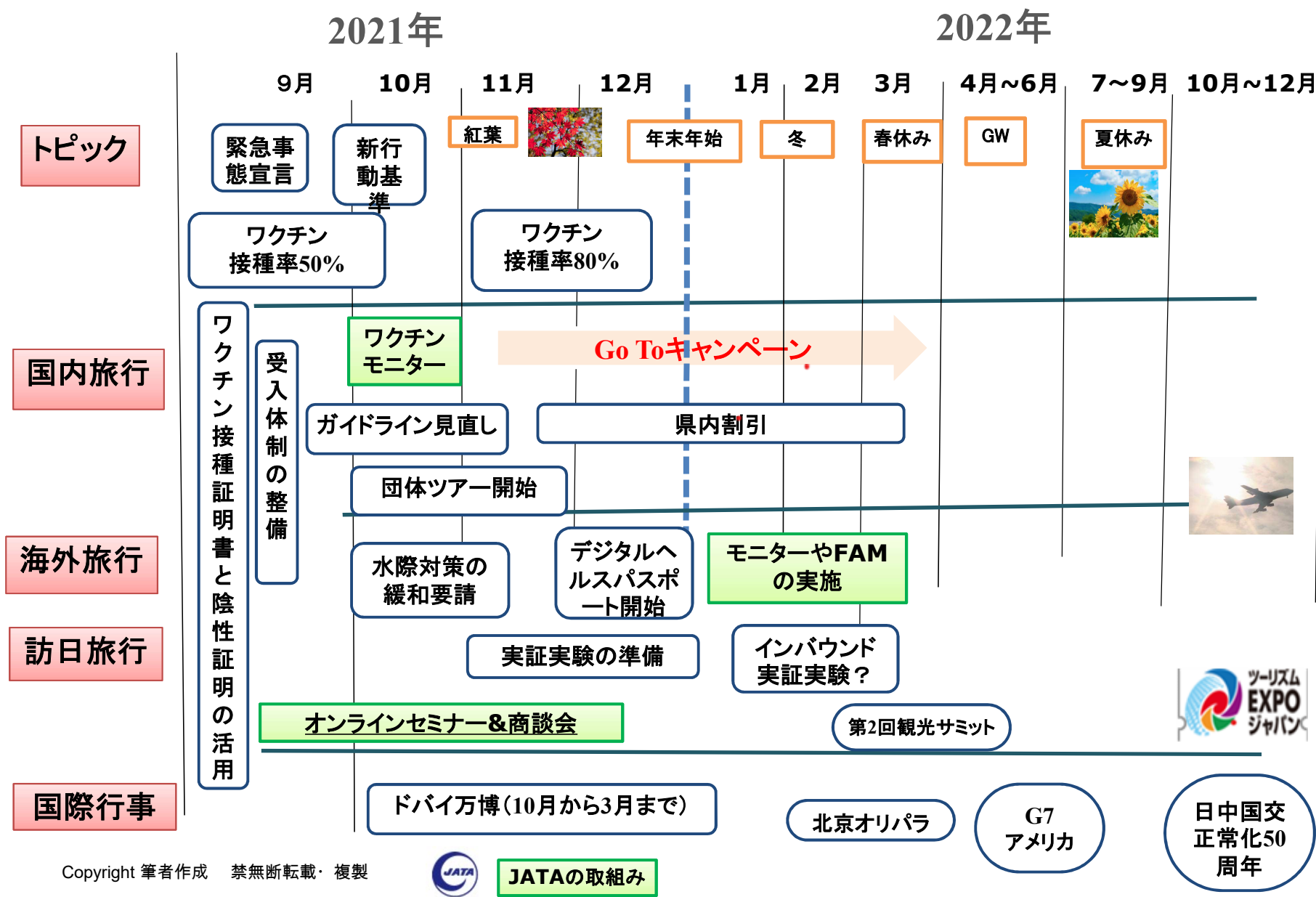
JATA海外旅行推進部
2021 0730

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----



新型コロナウイルス感染症これからの取組み（案）

9月9日現在



以上、、国内、海外と連携しながら復活の道を切り拓いていきましょう。

続いて、知事がリーダーシップをとり、インバウンド誘致を目標に、先進的な感染対策に取り組んできた「やまなしグリーンゾーン認証制度」を担当されている森田主査にバトンタッチします。